

社会資本総合整備計画(事後評価)

彦根港・長浜港における防災機能の向上(防災・安全)

滋賀県土木交通部
流域政策局

1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

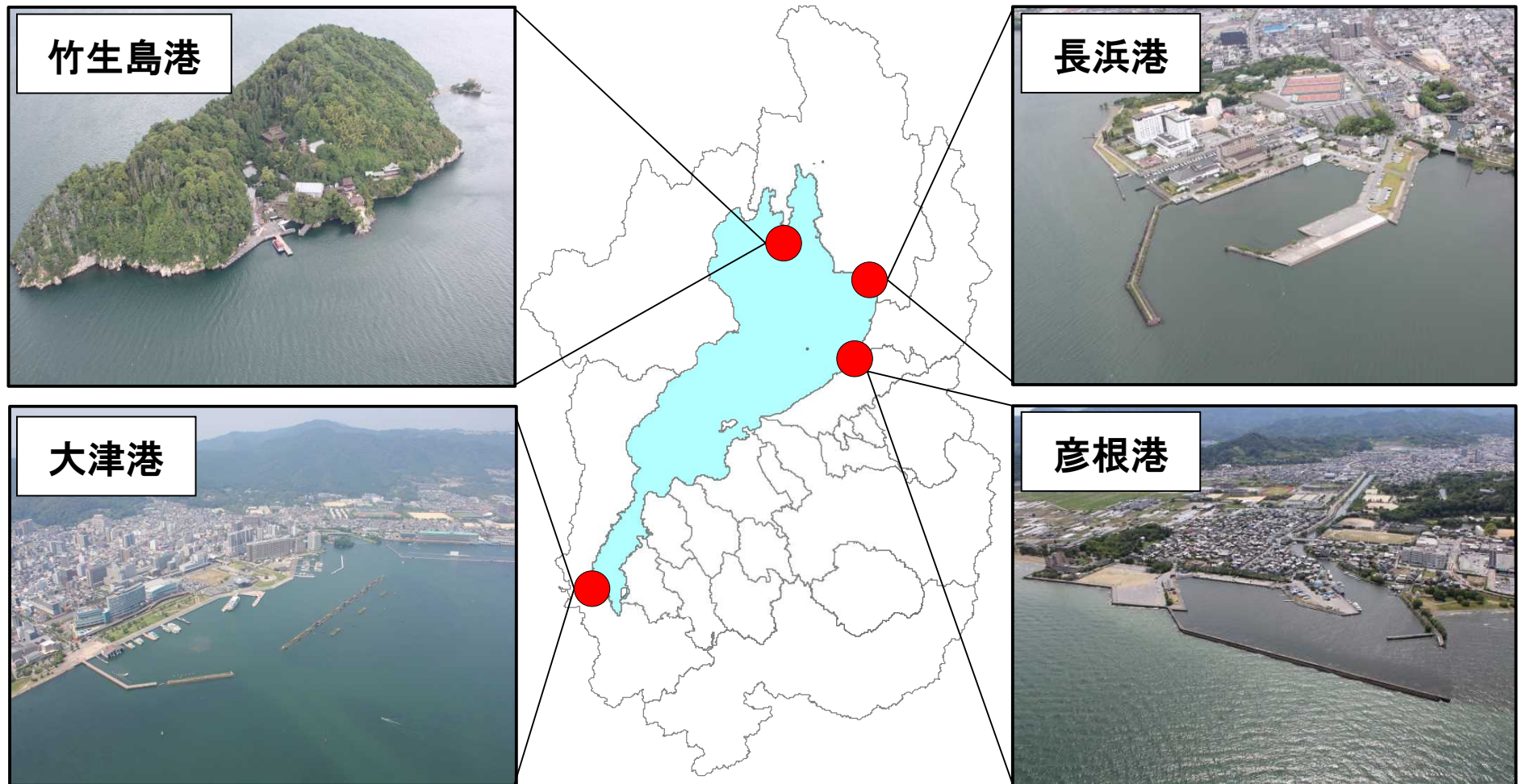
1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

1. 滋賀県管理の港湾について



■ 滋賀県が管理する港湾

地方港湾:大津港 彦根港 長浜港 竹生島港 の4港湾



このほか、各市が管理する漁港や舟溜、びわこ大橋港などの民間棧橋等がある

広域湖上輸送拠点について

- 広域湖上輸送拠点(平成8年3月指定) 18港
琵琶湖が県央にある本県の地理特性を活かし、
県有船舶や民間船舶等を利用した湖上輸送を行うための拠点



このほか、県立体育館など15施設が、広域陸上輸送拠点として指定
また、これらの拠点を繋ぐ緊急輸送道路が指定され、ネットワークを構築

1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

2. 社会資本総合整備計画について



計画名：彦根港・長浜港における防災機能の向上(防災・安全)

計画期間

平成30年～令和4年の5年間(計画)

平成30年～令和2年の3年間(実施)

・彦根港:平成30年度の単年度

・長浜港:平成30年度～令和2年度(令和3年度から別計画で実施)

計画目標

琵琶湖北湖において背後に市街地を有した滋賀県管理の広域輸送拠点である2港湾(地方港湾)について防災機能を向上させることにより発災時の琵琶湖湖上交通の活用を図り、広域的な防災・減災に資する。

成果目標

- ①彦根港において取得済の臨港地区内緑地ヤードを、防災拠点として機能を発揮し得るよう整備する。
- ②県地域防災計画上の広域湖上輸送拠点である長浜港の耐震化により、中型船舶による緊急物資輸送機能を確保する。

1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

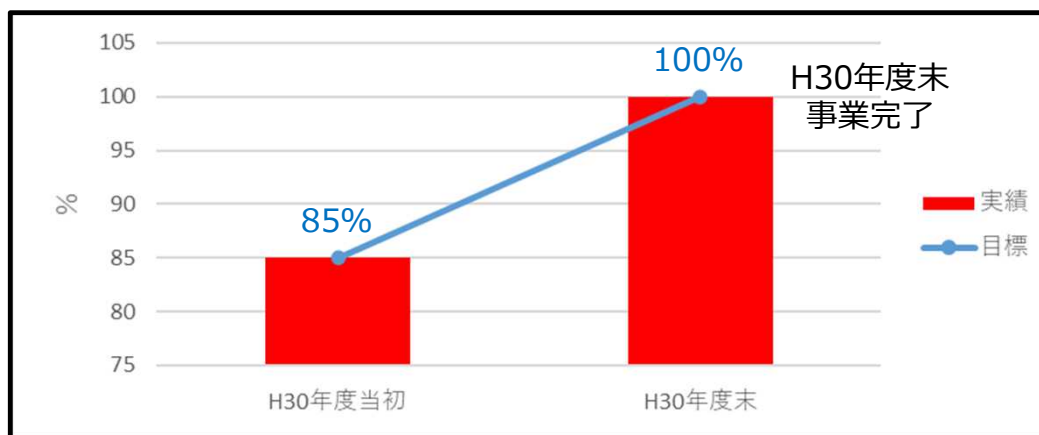
3. 事業の進捗状況

彦根港・長浜港における防災機能の向上（防災・安全）

指標 1

彦根港における防災拠点整備 整備進捗率(%)

最終目標値



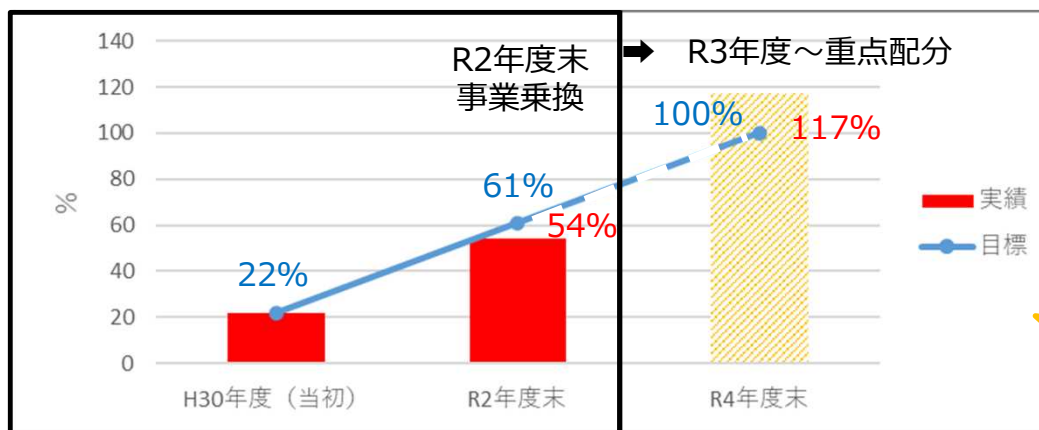
全体目標 A=1.77haのうち
本整備計画では、
A=1.77haが対象

H30年度末
防災拠点整備完了

指標 2

長浜港における岸壁耐震化 整備進捗率(%)

最終目標値



全体目標 L=129mのうち
本整備計画では、
L=40mが対象
(R4年度末時点:46m完了)

R3年度から別計画で
重点配分を受け
現在整備を進めている

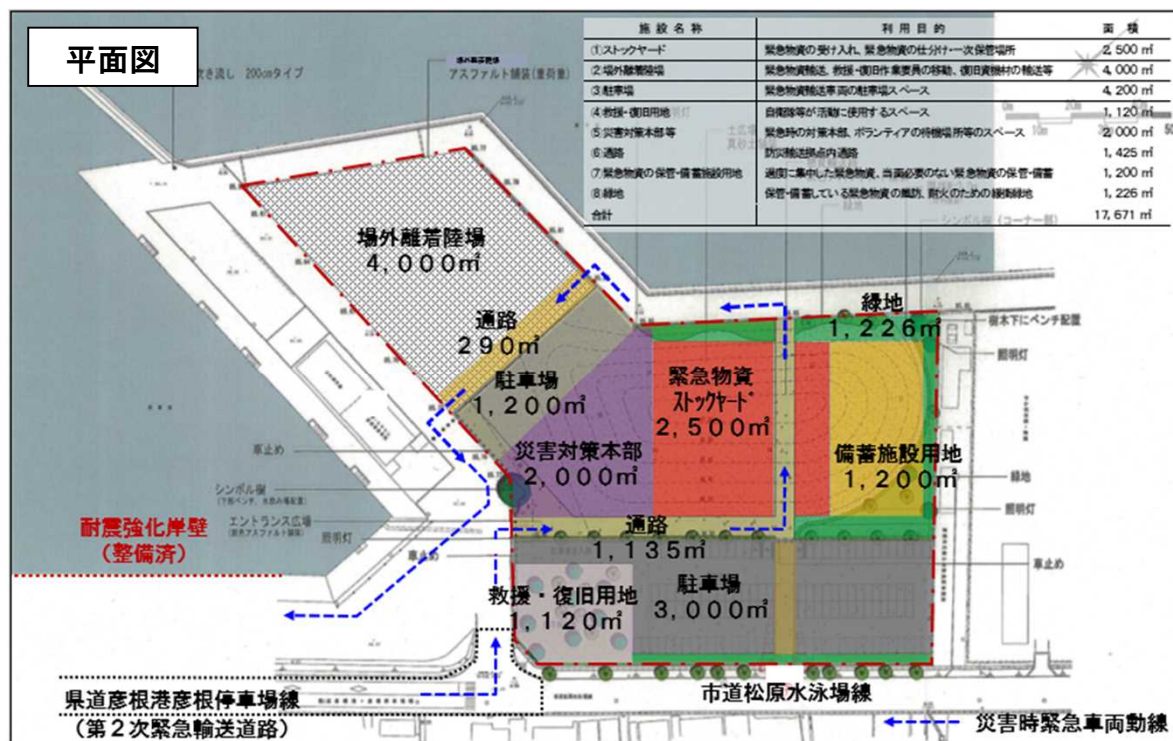
1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
 - ・事業効果の発現状況
 - ・評価指標の目標値の実現状況
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

4. 彦根港【事業効果の発現状況】



港湾名 : 彦根港
 事業内容 : 防災拠点整備 A=1.77ha
 事業費 : 28百万円
 整備状況 : A=1.77ha完成

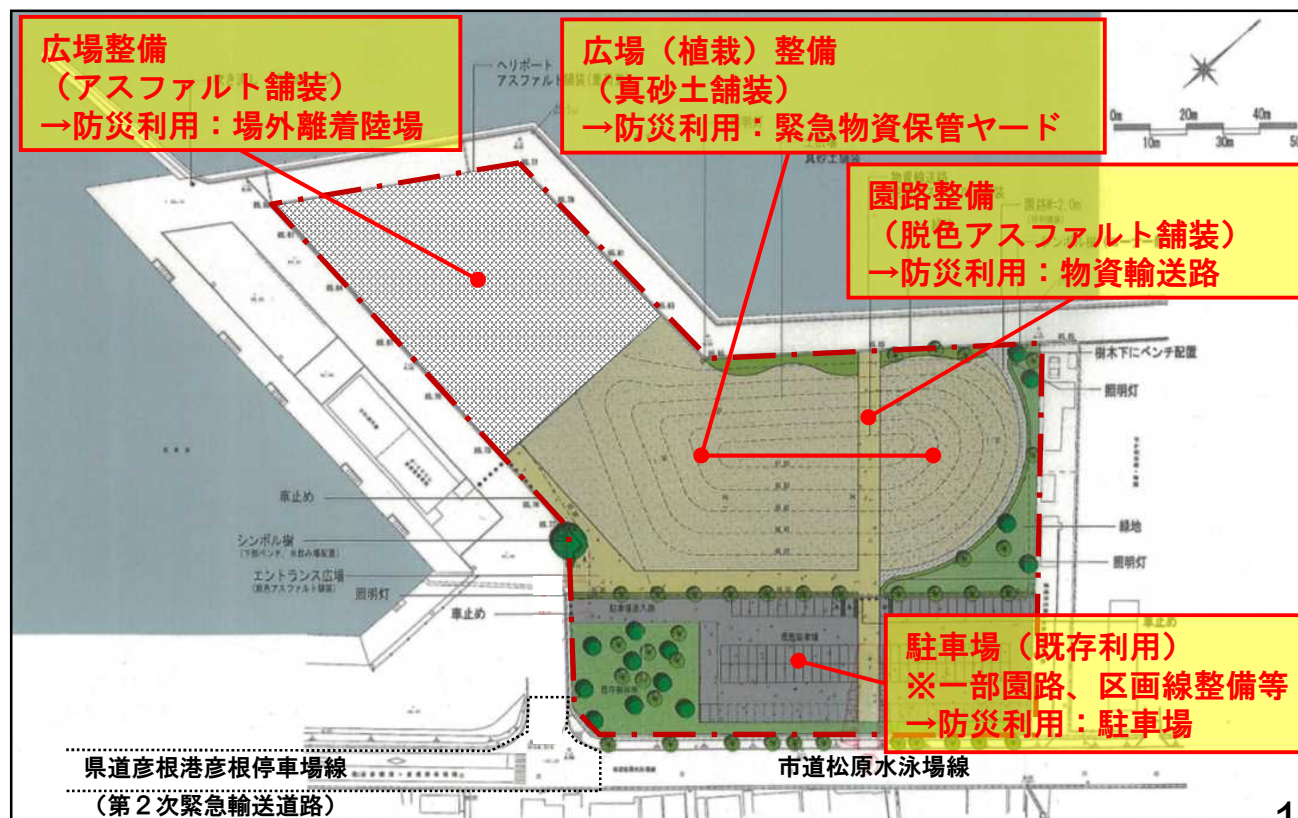
臨港地区内緑地ヤードを
 防災拠点として機能を発揮
 し得るよう整備



目標値達成



	H30当初(現況値)	H30末
計画	85%	100%
実績	85%	100%
	基盤整備までは済み	舗装、園路整備を実施



1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
 - ・事業効果の発現状況
 - ・評価指標の目標値の実現状況
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

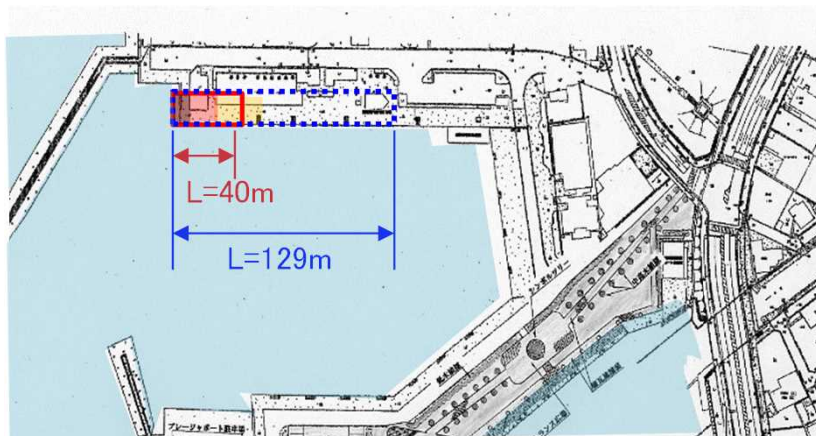
4. 長浜港 【事業効果の発現状況】



港湾名 : 長浜港
事業内容 : 耐震強化岸壁(地盤改良)L=40m
事業費 : 252百万円
整備状況 : L=40mのうち、R2末までにL=21.4m
(他事業で、残りL=18.6mも実施済)

県地域防災計画上の広域輸送拠点である長浜港の耐震化により、
中型船舶による緊急輸送機能が向上

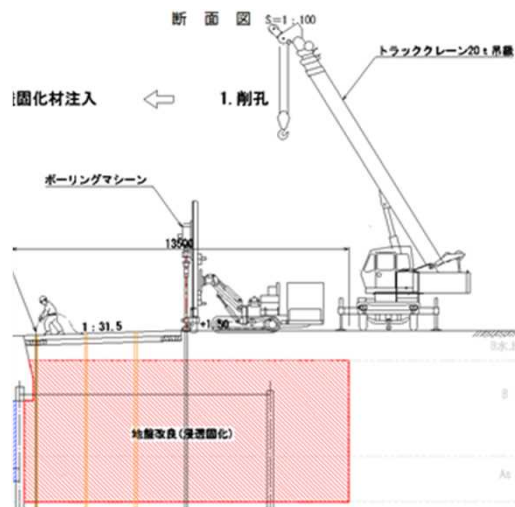
平面図



全体計画L=129mのうち
評価対象交付金の整備対象L=40m

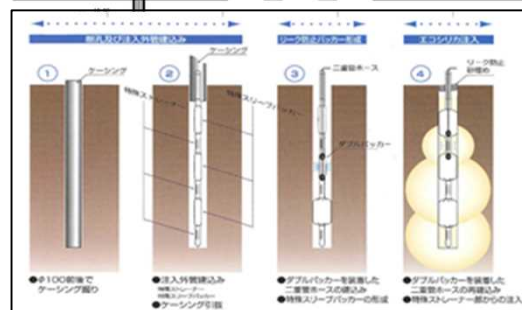
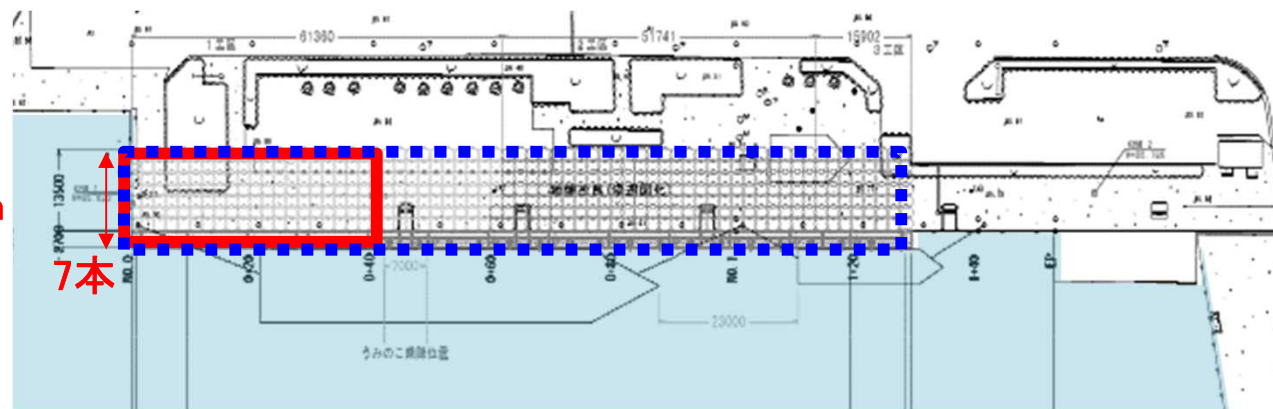
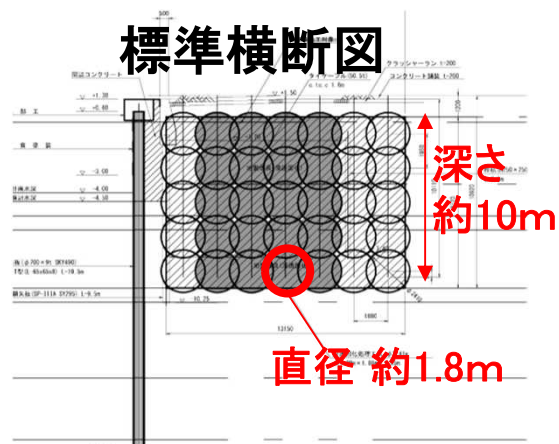


4. 長浜港 【採用工法について】



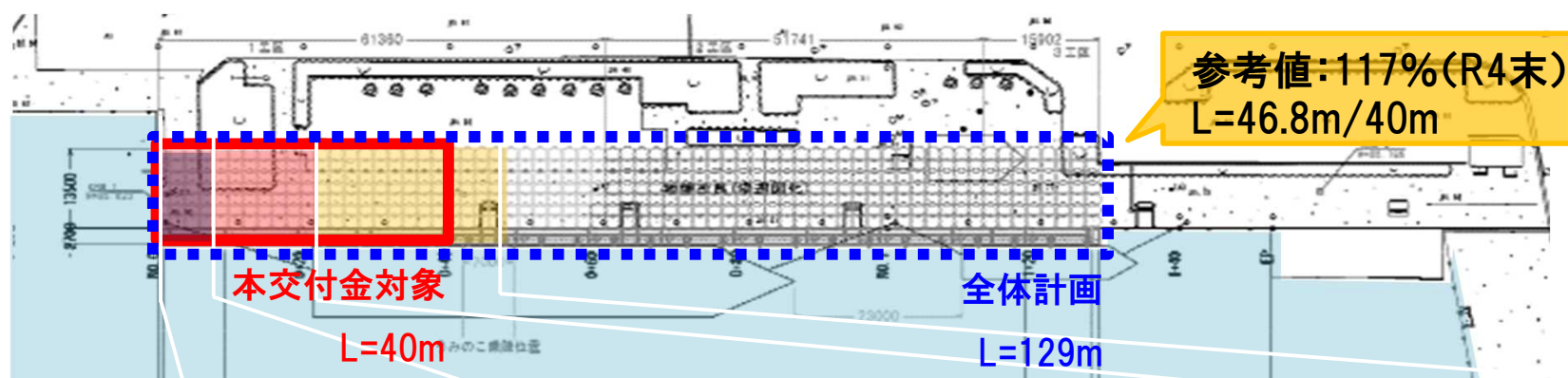
【浸透処理固化工法】

- ・浸透性の高い薬剤を地盤内に注入することで地震時の液状化を防止する地盤改良工法
- ・既施設設を供用しながら工事が可能



4. 長浜港【評価指標の目標値の実現状況】

■ 定量的指標：岸壁耐震化 整備率



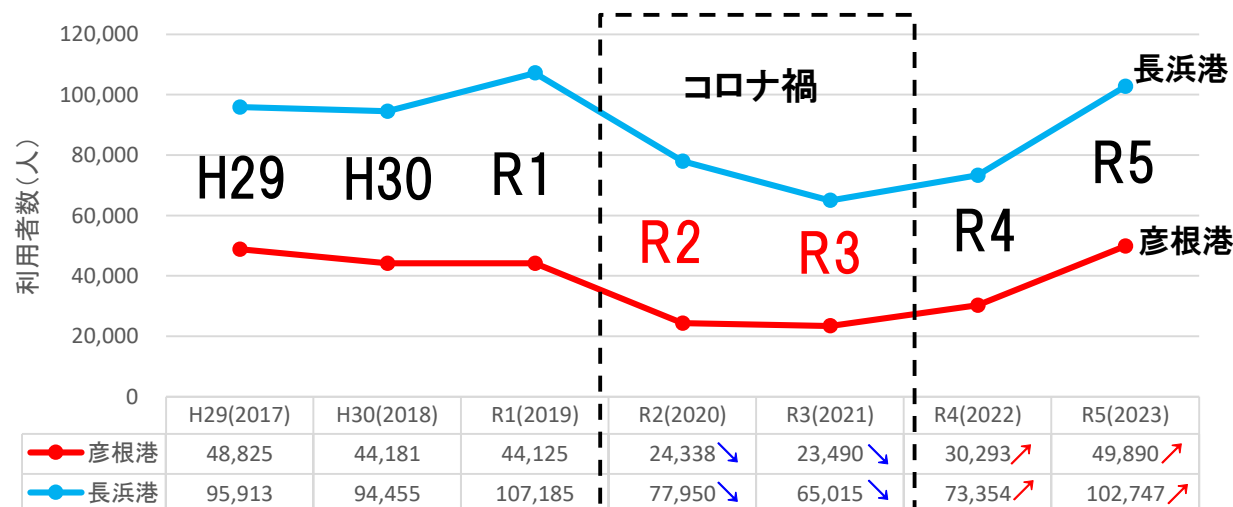
	H30当初	R2末	計画期間内における 目標達成状況	R4末(参考値)
計画	8.8m(22%)	24.4m(61%)	未達成 (要因:労務費や材料費の単価上昇により進捗が遅れたため)	40.0m(100%)
実績	8.8m(22%)	21.4m(54%)		46.8m(117%) (別事業でR4目標値達成)

1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

6.主要な事業に関する事項

■事業を巡る社会経済情勢等の変化

○港湾利用者数（国土交通省統計「港湾調査」、船舶乗降人員数）



コロナ禍の影響で、
一時的に利用者数減少したが、
コロナ以前のレベルまで
回復傾向にある

○港湾の防災・減災対策の重要性の高まり

能登半島沖地震や台風等の大規模自然災害により、多数の港湾施設が被災
耐震化済岸壁は被害が少なく、被災直後から緊急物資輸送等を機動的に実施

令和6年1月能登半島沖地震(石川県穴水港)



令和5年8月台風第6号(鹿児島県安房港)



令和3年2月福島県沖地震(福島県相馬港)



耐震化済岸壁は
震度6強地震直後でも
防災機能を発揮

1. 滋賀県管理の港湾について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 事業の進捗状況
4. 彦根港における防災拠点整備
5. 長浜港における岸壁耐震化
6. 主要な事業に関する事項
7. まとめと今後の方針

		彦根港	長浜港
1	事業の進捗状況	防災拠点整備 A=1.77ha	岸壁耐震化 L=46.8m
2	事業効果の発現状況	防災拠点としての 機能向上に寄与	緊急時の輸送拠点としての 機能確保に寄与
3	評価指標の目標値の 実現状況	目標値達成 100% 1.77/ 1.77ha	他事業で目標値達成117% 46.8/40m
4	事業に関する事項	・事業を巡る社会経済情勢等の変化は認められない ・港湾の防災・減災対策の重要性が高まっている ⇒事業の必要性ならびに事業効果のあることを確認	

- 長浜港については、他事業で引き続き岸壁耐震化を行い、防災拠点としての機能の早期発現を目指す。
- 「滋賀県地域防災計画」および「滋賀県防災プラン」に基づき、大規模災害時に湖上輸送が有効に機能するよう、既存港湾施設の防災機能強化を進めていく。